

平成29年度 第3・4回 東京都認知症介護実践リーダー研修

東京都では、認知症の人に対する介護サービスの充実を図るため、認知症介護に従事する方の研修を実施いたします。

このパンフレットは、今年度全6回の予定で実施する東京都認知症介護実践リーダー研修の第3・4回目についてお知らせするものです。

※おおむね1月に同様の研修の実施を予定しています。

※本研修は、平成16年度までの東京都痴呆介護実務者研修(専門課程)をより充実させ、実施しているものです。

【ねらい】 本研修を通じて、受講者が以下のような目的を達成することをねらいとしています。

「認知症の人が有する能力に応じて自立した日常生活を営む」ことを支援するために、施設、事業所等における認知症支援のチームリーダーとして他の職員を指導し、チームケアのための調整を行うなど、認知症支援の質を向上させるための方策を具体的に展開する。

地域特性を活かして事業者等の連携を図るなど、地域の社会資源を活用して認知症の人を支援していくための方策を実践する。

【実施主体】 東京都

【受講要件】 東京都内の介護保険施設・事業所(居宅介護支援事業所を除く)に従事している介護職員等で、以下の要件を**全て**満たしている方が受講対象者となります。

- ①認知症介護実践者研修(痴呆介護実務者研修基礎課程を含む)を修了した方
- ②原則として、認知症の人の介護業務に5年以上従事した経験を有している方であって、実践者研修を修了し1年以上経過している方
- ③各介護保険施設・事業所において介護・看護のチームリーダー(主任・副主任・ユニットリーダーなど)の立場にあるか、または、それらの方々を指導する立場にある方
- ④区市町村又は地域での事業者連絡会等において、認知症支援の向上について役割を担うことができる方又はその意欲がある方

※指定認知症対応型共同生活介護事業所が、短期利用認知症対応型共同生活介護を行うに当たっては、本研修又は痴呆介護実務者研修専門課程(本研修の旧体系です。)、若しくは認知症介護指導者養成研修を修了していることが必要です。

⇒【申込方法参照】

【日程・研修内容】⇒詳細は5ページ以降をご覧ください。

講義・演習 8日間〔実習の課題設定・まとめを含む〕
 実習 ・他施設実習5日間 ※各回に定められた日程で実施します
 ・自施設実習4週間

	第1日	第2日	第3日	実習	第4日	第5日	第6日	第7日	実習	第8日
	講義・演習	講義・演習	講義・演習	他施設実習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	講義・演習	自施設実習	講義・演習
第1回	9/12	9/13	9/19	<u>9/20~9/26</u>	10/10	10/23	10/24	10/25	10/26~12/5	<u>12/6</u>
第2回	9/12	9/13	9/19	<u>9/27~10/3</u>	10/10	10/23	10/24	10/25	10/26~12/5	<u>12/7</u>

【定員】 各回50名
 ※お申込みの状況によっては、ご期待に添えない場合もございます。

【受講料】 無料

【申込方法】 以下の方法によりお申込みください。なお、受講目的によって申込方法が異なりますのでご注意ください。

受講目的	申込方法
① 短期利用認知症対応型共同生活介護を行うため（指定認知症対応型共同生活介護に限る）	添付の受講申込書（コピー可）に必要事項をご記入の上、 <u>認知症介護実践者研修の修了証書のコピーを添付し、事業所が所在する区市町村の介護保険サービス事業者にかかる指定所管部署にお申込みください。</u> ＊なお、内容により区市町村において受講申込みを受理できない場合も考えられます。詳細は区市町村にご相談ください。 ＊当方で受講回（第3回・第4回）の割振りをいたします。 ◆ <u>区市町村への申込期限 7月4日（火）</u> （区市町村で取りまとめ後、研修室に <u>7月11日（火）（必着）</u> までにお送りください）
② 上記以外	添付の受講申込書（コピー可）に必要事項をご記入の上、 <u>認知症介護実践者研修の修了証書のコピーを添付し、所属する介護保険施設・事業所等の長から、下記の宛先に郵送</u> してください。 ＊当方で受講回（第3回・第4回）の割振りをいたします。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 郵送先：〒112-0006 東京都文京区小日向4-1-6 東京都社会福祉保健医療研修センター 1階 東京都福祉人材センター研修室 内 「東京都認知症介護研修」担当 </div> ◆ <u>研修室直接申込期限 7月11日（火）必着</u>
【留意点（①・②共通）】 ・必ず講義・演習及び実習の全日程に参加できる方をご推薦願います。 ・受講申込書には公印を必ず押してください。（所属長や担当者の私印は不可）	

※申込期限は、いずれの場合も必着とし、FAXによるお申込みは一切受け付けません。

【受講決定】 受講が決定された方については受講票を、受講いただけない方についてはその旨の通知を、所属する介護保険施設・事業所等の担当者あてに郵送いたします。また、区市町村を通じてお申込みをされた方については、あわせて各区市町村あてに通知いたします。

※通知の発送は8月2日頃を予定しています。
※必着期限を過ぎたお申込みについては、通知をいたしません。

【会 場】 **東京都社会福祉保健医療研修センター**
所在地 東京都文京区小日向4-1-6
交通 東京メトロ 地下鉄丸の内線「茗荷谷」駅下車 徒歩10分
JR大塚駅下車 都営バス：錦糸町駅行き「小石川四丁目」
停留所下車 徒歩1分

当日、車・バイク・自転車でのご来場はご遠慮ください。

会場が変更になる場合がございます。詳細は受講決定時にお知らせします。

- 【その他】
- (1) 研修当日は必ず受講票をご持参ください。
(受講票をお持ちでない方は、受講できません)
 - (2) 受講生には『事前課題』をご提出いただきます。別途指定する講義日程の受付でご提出ください。
 - (3) 実習については、4ページをご参照ください。特に自施設実習の実施に際しては、事業所のご理解とご協力をお願いします。
 - (4) 本研修の全課程を修了した方には、東京都知事の修了証書を交付いたします。
 - (5) 原則として、研修当日の遅刻・早退・欠席は認められません。このような場合は、研修を辞退していただくこととなります。時間に余裕を持って研修会場へお越しください。
 - (6) やむを得ず研修を辞退する場合は、所属する介護保険施設・事業所等の長を通じて、「辞退届」を提出していただきます。区市町村の推薦を受けて申込みをされた方が辞退する場合は、区市町村を通じて辞退届をご提出ください。
 - (7) 本研修の申込書等に記載された事項は、個人情報保護等の規程に基づき適正な管理を行い、本研修実施に関する業務以外に使用することはいたしません。
 - (8) 研修修了者の氏名等を事業所が所在する区市町村にお知らせします。また、必要に応じて、東京都認知症疾患医療センター、地域包括支援センター等の関係機関に研修修了者の氏名等を情報提供いたします。

【お問合せ先】 東京都福祉人材センター研修室「東京都認知症介護研修」担当
TEL03-5800-3335（月曜日～金曜日 午前9時～午後5時）

**** 実習のご案内（認知症介護実践リーダー研修）****

- 共通テーマ 自分の職場、地域において、チームリーダーとして「認知症の人の尊厳を支える自立支援」に向けた具体的な取組みをどう進めるか考察を深める。

■ 実習期間

- 他施設実習は講義・演習の3日目終了後から4日目の間の5日間（土を除く）に、下記のとおり、各回に定められた日程で実施する予定です。

〔他施設実習 回数・日程一覧〕

回数	日程
第3回	9月20日(水)～9月26日(火)
第4回	9月27日(水)～10月3日(火)

- 他施設実習先は、当方で決定します。
- 自施設実習では、講義・演習7日目で他施設実習を振り返り、課題を再確認した後、受講生が所属する自施設・事業所にて約4週間の実習を行っていただきます。

■ 実習の進め方

- 他施設、自施設・事業所それぞれにおける実習経験を通して、認知症の人の尊厳を支える自立支援のあり方についての考えを深め、今後の具体的な取組みへと考察を深めていくことが実習の目的です。
- 成果の高い実習とするため、講義・演習3日目「実習の課題設定」で、実習のテーマと取組みの目標を具体的に作り上げていく学習を行います。
- 他施設実習（5日間）後、講義・演習7日目「自施設実習の課題設定」において、他施設実習の振り返りを通し、実習の課題を明確にした上で、自施設実習（約4週間）を行います。
- 自施設実習は、講義・演習を通じて各自が設定した実習課題に基づいて、自施設実習の期間中に各受講生の所属事業所で実習を行います。必要に応じて、カンファレンス等を設定していただき、他の職員の方の協力を得ながら、課題に取り組みます。
- 講義・演習8日目では実習報告を行い、実習の成果を共有するとともに、今後、各施設・事業所、地域等において実践していく具体的な取組み方策について明確にしていきます。

所属長様へのお願い

- 自施設実習では、受講生は自施設・事業所において、研修で設定した課題を行います。実習生の各所属におかれましては、受講生が実習期間中であることに十分ご留意いただき、実習課題を実施するための時間の確保や、本研修の効果的な実施に御協力をお願いします。
- 自施設・事業所における実習について、その期間と実習の課題等を他の職員の方々へも周知し、実習内容やカンファレンスに協力していただくなど、施設・事業所全体として取り組んでいただく必要があります。所属長様には申込者として、職場への御配慮と課題の実行についての御協力をお願いします。

□リーダー研修プログラム 第3回

日 時		内 容	講師名(敬称略)
9月12日 第1日目	9:20～9:30	オリエンテーション	
	9:30～10:00	研修の意義と目的	小川マキ(東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課 課長代理(認知症支援担当))
	10:00～12:00	認知症の専門的理解	松井敏史(医療法人社団 大和会 大内病院 副院長/東京都認知症疾患医療センター センター長)
	13:00～14:00	認知症ケアの指導の基本的視点	島田孝一(株Professional Works 代表取締役/東京都認知症介護指導者)
	14:15～16:45	チームで支える認知症介護	島田洋介(介護老人保健施設 めぐみ 施設長/東京都認知症介護指導者)
	16:45～17:00	今日のふりかえり	
9月13日 第2日目	9:30～14:00	認知症ケアにおけるチームアプローチの実践	島田孝一(株Professional Works 代表取締役/東京都認知症介護指導者)
	14:15～16:45	チームメンバーのストレスマネジメントの理論と方法	小川恵(淑徳大学総合福祉学部 教授・精神科医)
	16:45～17:00	今日のふりかえり	
9月19日 第3日目	9:30～12:00	認知症ケアの地域展開(フィールドワーク)	成田寛一郎(港区立特別養護老人ホーム白金の森 副施設長/東京都認知症介護指導者)
	13:00～15:00	認知症ケアの地域展開(ミニシンポジウム)	コーディネーター 三田貴弘(利島村社会福祉協議会/東京都認知症介護指導者) シンポジスト 調整中
	15:15～16:45	他施設実習の課題設定	三田貴弘(利島村社会福祉協議会/東京都認知症介護指導者)
	16:45～17:00	今日のふりかえり	
他施設実習 9月20日(水)～9月26日(火)			
10月10日 第4日目	9:30～12:30	職場内教育(OJT)の理解と実践	諏訪茂樹(東京女子医科大学 看護学部 人文社会科学系 准教授)
	13:30～16:30	職場内教育(OJT)の方法の理解と実践	
	16:30～17:00	今日のふりかえり	
10月23日 第5日目	9:30～10:30	職場内教育(OJT)の計画立案方法の理解	藤澤良太(グループホームたちばな 計画作成担当者/東京都認知症介護指導者)
	10:30～12:30	認知症ケアに関する倫理	尾林和子(特別養護老人ホームフローラ田無 施設長/東京都認知症介護指導者)
	13:30～16:30	認知症の人の権利擁護	下江佳代子(公益社団法人 あい権利擁護支援ネット 講師)
	16:30～17:00	今日のふりかえり	
10月24日 第6日目	9:30～14:00	認知症の人への介護技術	市本洋(品川区立中延特別養護老人ホーム 管理者/東京都認知症介護指導者)
	14:15～16:45	認知症の人の家族支援方法	熊谷恵津子(小規模多機能ホーム ケア・ヴィレッジ東京 統括部長/東京都認知症介護指導者)
	16:45～17:00	今日のふりかえり	
10月25日 第7日目	9:30～12:30	認知症の人へのアセスメントとケアの実践	高岡宏(マザアス新宿 施設長/東京都認知症介護指導者)
	13:30～16:30	自施設実習の課題設定	相沢美恵子(介護老人保健施設メディケアイースト 看護・リハビリ部長/東京都認知症介護指導者)
	16:30～17:00	今日のふりかえり	
自施設実習 10月26日(木)～12月5日(火)			
12月6日 第8日目	9:30～16:30	自施設実習結果報告・自施設実習評価	相沢美恵子(介護老人保健施設メディケアイースト 看護・リハビリ部長/東京都認知症介護指導者)
	16:30～17:00	今日のふりかえり	
研修レポートの作成 (5,000字程度)		研修の受講を通じ、これから実践すべきケアの方向性と具体的な取り組み目標について、研修レポートを作成し、提出する。	

※プログラムによっては、第4回と合同研修となります。

□リーダー研修プログラム 第4回

日 時		内 容	講師名(敬称略)
9月12日 第1日目	9:20~9:30	オリエンテーション	
	9:30~10:00	研修の意義と目的	小川マキ(東京都福祉保健局高齢社会対策部在宅支援課 課長代理(認知症支援担当))
	10:00~12:00	認知症の専門的理解	松井敏史(医療法人社団 大和会 大内病院 副院長/東京都認知症疾患医療センター センター長)
	13:00~14:00	認知症ケアの指導の基本的視点	須原智子(株式会社日本ケアリンク 経営企画部マネージャー兼事業支援室マネージャー兼内部監査室長/東京都認知症介護指導者)
	14:15~16:45	チームで支える認知症介護	島田孝一(㈱Professional Works 代表取締役/東京都認知症介護指導者)
	16:45~17:00	今日のふりかえり	
9月13日 第2日目	9:30~14:00	認知症ケアにおけるチームアプローチの実践	長澤かほる(㈱ケアサークル恵愛 居宅介護支援事業所 介護支援専門員/東京都認知症介護指導者)
	14:15~16:45	チームメンバーのストレスマネジメントの理論と方法	小川恵(淑徳大学総合福祉学部 教授・精神科医)
	16:45~17:00	今日のふりかえり	
9月19日 第3日目	9:30~12:00	認知症ケアの地域展開(フィールドワーク)	田中潤(東京総合保健福祉センター江古田の森 フロアリーダー/東京都認知症介護指導者)
	13:00~15:00	認知症ケアの地域展開(ミニシンポジウム)	コーディネーター 三田貴弘(利島村社会福祉協議会/東京都認知症介護指導者) シンポジスト 調整中
	15:15~16:45	他施設実習の課題設定	島田洋介(介護老人保健施設 めぐみ 施設長/東京都認知症介護指導者)
	16:45~17:00	今日のふりかえり	
他施設実習 9月27日(水) ~ 10月3日(火)			
10月10日 第4日目	9:30~12:30	職場内教育(OJT)の理解と実践	尾林和子(特別養護老人ホームフローラ田無 施設長/東京都認知症介護指導者)
	13:30~16:30	職場内教育(OJT)の方法の理解と実践	
	16:30~17:00	今日のふりかえり	
10月23日 第5日目	9:30~12:30	認知症の人の権利擁護	下江佳代子(公益社団法人 あい権利擁護支援ネット 講師)
	13:30~14:30	職場内教育(OJT)の計画立案方法の理解	藤澤良太(グループホームたちばな 計画作成担当者/東京都認知症介護指導者)
	14:30~16:30	認知症ケアに関する倫理	成田寛一郎(港区立特別養護老人ホーム白金の森 副施設長/東京都認知症介護指導者)
	16:30~17:00	今日のふりかえり	
10月24日 第6日目	9:30~14:00	認知症の人への介護技術	河合幸人(デイサービス つむぎ狛江 管理者/東京都認知症介護指導者)
	14:15~16:45	認知症の人の家族支援方法	田口実(特別養護老人ホーム さくら野杜 生活相談員/東京都認知症介護指導者)
	16:45~17:00	今日のふりかえり	
10月25日 第7日目	9:30~12:30	認知症の人へのアセスメントとケアの実践	奈良田敬(株式会社やさしい手甲府 八王子事業所 課長/東京都認知症介護指導者)
	13:30~16:30	自施設実習の課題設定	鷹部屋宏平(特別養護老人ホーム シャローム東久留米 副施設長・高齢者在宅サービスセンターシャローム南沢 センター長/東京都認知症介護指導者)
	16:30~17:00	今日のふりかえり	
自施設実習 10月26日(木) ~12月5日(火)			
12月7日 第8日目	9:30~16:30	自施設実習結果報告・自施設実習評価	鷹部屋宏平(特別養護老人ホーム シャローム東久留米 副施設長・高齢者在宅サービスセンターシャローム南沢 センター長/東京都認知症介護指導者)
	16:30~17:00	今日のふりかえり	
研修レポートの作成 (5,000字程度)		研修の受講を通じ、これから実践すべきケアの方向性と具体的な取り組み目標について、研修レポートを作成し、提出する。	

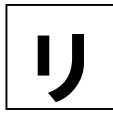
※プログラムによっては、第3回と合同研修となります。

東京都認知症介護実践リーダー研修 受講申込書
 <受講希望者の所属する施設・事業所>の3 所在地コード番号 一覧

受講希望者の所属する施設・事業所の所在する区市町村の所在地コード番号を受講申込書の3 所在地コード番号欄に記入してください。

所在地コード番号	区市町村名	所在地コード番号	区市町村名
01	千代田区	32	町田市
02	中央区	33	小金井市
03	港区	34	小平市
04	新宿区	35	日野市
05	文京区	36	東村山市
06	台東区	37	国分寺市
07	墨田区	38	国立市
08	江東区	39	福生市
09	品川区	40	狛江市
10	目黒区	41	東大和市
11	大田区	42	清瀬市
12	世田谷区	43	東久留米市
13	渋谷区	44	武蔵村山市
14	中野区	45	多摩市
15	杉並区	46	稲城市
16	豊島区	47	羽村市
17	北区	48	あきる野市
18	荒川区	49	西東京市
19	板橋区	50	瑞穂町
20	練馬区	51	日の出町
21	足立区	52	檜原村
22	葛飾区	53	奥多摩町
23	江戸川区	54	大島町
24	八王子市	55	利島村
25	立川市	56	新島村
26	武蔵野市	57	神津島村
27	三鷹市	58	三宅村
28	青梅市	59	御蔵島村
29	府中市	60	八丈町
30	昭島市	61	青ヶ島村
31	調布市	62	小笠原村

平成29年度 東京都認知症介護実践リーダー研修(第3・4回共通) 受講申込書



東京都知事殿

申込者	法人名	
	(事業所名)	
	所属長役職	
	所属長氏名	



事務連絡先 [受講票等送付先]

	郵便番号	
	所在地	
	事業所名	
	連絡先 TEL	
	連絡先 FAX	
	連絡担当者氏名	

平成29年度東京都認知症介護実践リーダー研修に次の者を受講させたく、申込みます。

フリガナ		性別	1男	2女
受講希望者氏名				
生年月日	1昭和・2平成 年 月 日 ※受講者氏名と生年月日は、修了証書にも記載しますので、正確にお書きください。			
受講希望回	*当方で受講回(第3回・第4回)の割振りをいたします。 都合の悪い研修回があれば、×をつけてください。		第3回	第4回
<受講希望者の所属する施設・事業所> ※現在所属する施設・事業所名をご記入ください。 受講希望者が複数のサービスに従事している場合は、 <u>主に</u> 従事している、サービス一つについてご記入ください。 1 名称 _____ 2 所在地 _____ 区・市・町・村 3 所在地コード番号 <input type="text"/> <input type="text"/> ※募集要項 参照 4 サービスの種類 (複数のサービスに従事している場合は、 <u>主に</u> 従事しているサービス1つに○をつける) 1 介護老人福祉施設 2 介護老人保健施設 3 介護療養型医療施設 4 小規模多機能型居宅介護 5 訪問介護 6 通所介護 7 認知症対応型通所介護 8 認知症対応型共同生活介護 9 特定施設入居者生活介護 10 訪問看護 11 訪問入浴 12 通所リハビリテーション 13 短期入所生活介護 14 短期入所療養介護 15 福祉用具貸与 16 看護小規模多機能型居宅介護 17 その他 (_____) 5 介護保険事業所番号 (_____)				
施設・事業所における職種、役職等	該当するものに○をつけてください。 1 管理者 2 計画作成担当者 3 サービス提供責任者 4 介護主任 5 介護副主任 6 フロアリーダー・ユニットリーダー 7 介護員(ケアワーカー) 8 主任相談員 9 相談員 10 その他 (_____)			
取得している資格等 (該当に○を付ける。)	1 介護福祉士 2 社会福祉士 3 訪問介護員1級 4 訪問介護員2級 5 看護師 6 介護支援専門員 7 その他 (_____) 8 資格なし			
認知症介護実務経験	年 _____ 月 _____			
認知症介護実践者研修受講履歴 (該当に○を付ける。)	1 痴呆介護実務者研修基礎課程 修了 2 認知症介護実践者研修 修了 必ず認知症介護実践者研修(または痴呆介護実務者研修基礎課程) 修了証書のコピーを添付のこと			

※1 本申込書は郵送にてお送りください。

※2 お申込みに際しては、講義・演習及び実習の全日程に参加できる方を推薦願います。

本申込書(裏面も含む。)に記載された事項につきましては、個人情報保護等の規程に基づき、適正な管理を行い、本研修実施に関する業務以外に使用することはいたしません。

なお、受講決定に際して、関係所管課等に記載内容の確認等を行う場合があります。

裏面も必ずご記入ください

■自施設実習に対する体制について（この欄は申込者〔所属長〕がご記入ください）

この研修では実習があり、効果的な研修実施のためには、所属長や職場の理解と協力とが必要です。

- ① 研修期間中（特に自施設・事業所実習）、職場においてどのような協力体制をお考えですか？

- ② 所属長として受講生に期待すること、この研修を職場にどう生かしたいか等ご記入ください。

■実習のテーマについて（この欄は受講希望者がご記入ください）

申込みの時点で、実習テーマとして具体的にどのようなことに取り組みたいとお考えですか？
参考にお聞かせください。

■認知症の人の支援の取り組みについて（この欄は受講希望者がご記入ください）

- ① 職場のリーダーとして、これまでどのようなことに取り組みてきましたか。
それぞれの役割や基本の方針などを具体的にご記入ください。

- ② 地域の中で、認知症の人の支援の質を向上させるため、どのような取り組みをされていますか。また、今後どのような取り組みをしたいとお考えですか。